

令和元年スキー研修

令和元年 12月23・25日の2日間に分かれて、大型乗務員32名を対象にスキー研修を行いました。23日は前夜の雪が少し残っていましたが、25日は全く雪の無い中での研修となりました。

それぞれ2台のバスに分乗して、まずは乗鞍方面へ。チェーン脱着場では、シングルチェーンとダブルチェーンの両方を脱着する練習をしました。先輩乗務員の指導の下、注意点や上手に脱着する為のコツなどを教わり、意欲的に取り組んでいました。



チェーンを着ける前には、捻じれが無いかチェックをしなければなりません。捻じれているとチェーンが切れる原因にもなります。

優しい(?)先輩がわざと捻じらせて、若手乗務員が直す練習が始まりました。最初の内は逆に回して悪化させる場面もありましたが、やり方を教わりながら繰り返すうちに、直すことが出来ました。

その後、スキーツアーで行く可能性が高い奥美濃の5つのスキー場を回り、駐車場の位置などを確認しました。

最後に、スキー場の取り付け道路を全乗務員が走行する研修を行いました。

ある組で上り下りの走行時間を測定してみたところ、乗り心地の良い運転手の方が時間が短いことが判明しました。さすがにタイムだけを追求すれば、乗り心地は悪くなると思いますが、「乗り心地良く」が前提のバス運転手の場合、無駄の無い運転操作が乗り心地を向上させ、時間も短縮させると思われます。上手だった乗務員にカーブでの操作方法などを詳しく聞いて、今後の自分の運転に役立てようとしていました。



今後も様々な機会に研修を行い、運転技術の向上に努めていきたいと思えます。